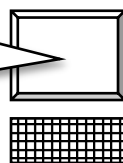
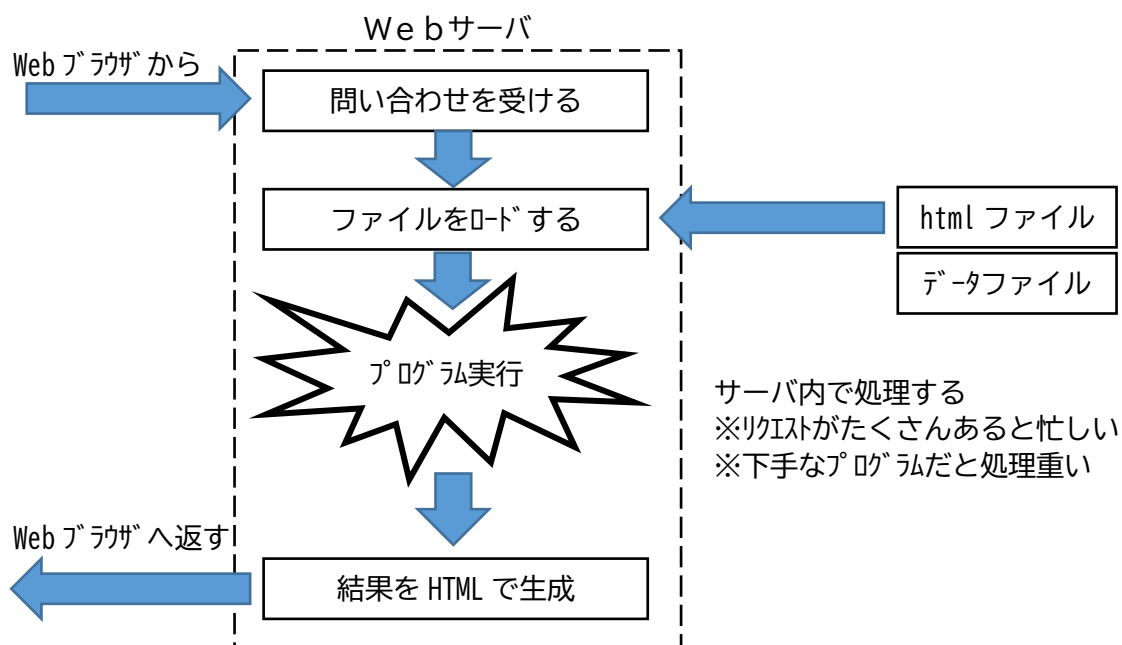


●サーバーサイドプログラミング

・クライアントサイド

ブラウザ内
で処理する
(PC 内部)ユーザから
の要求

・サーバーサイド



●Web サーバソフトウェア

- ・【超有名】Apache (アパッチ) <https://httpd.apache.org/>



羽のマークでお馴染み

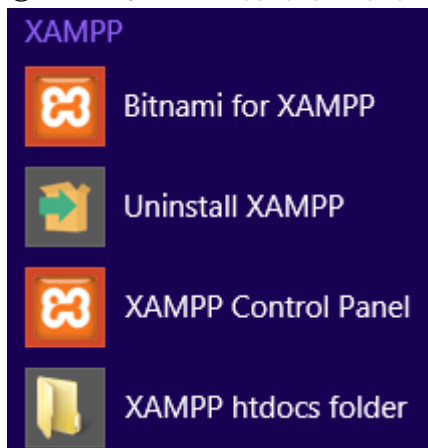
- ・【今回使用】XAMPP (ザンプ) <https://www.apachefriends.org/jp/index.html>



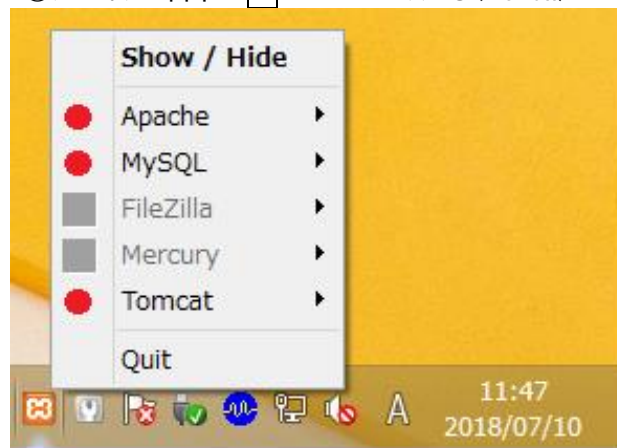
Apache(HTTPサーバ) + MariaDB(データベース) + PHP(サーバサイド言語) + Perl(サーバサイド言語)がセットになったもの。無料で DOWNLOAD 可。

●XAMPP の動かし方（PHP 環境の準備の仕方）

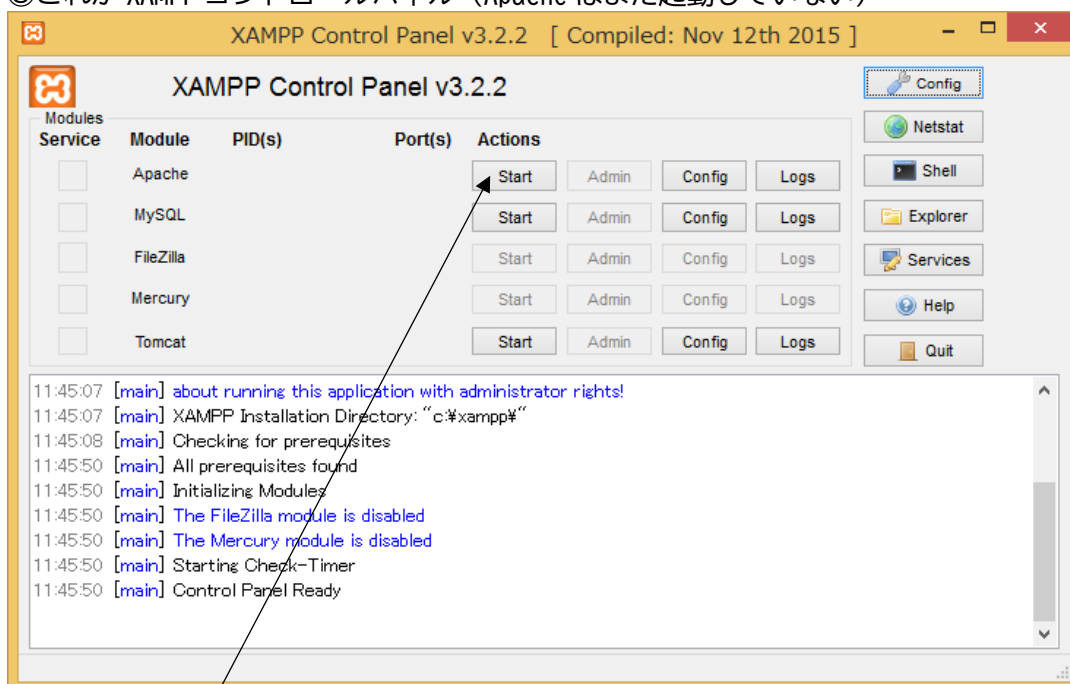
①メニューから XAMPP Control Panel



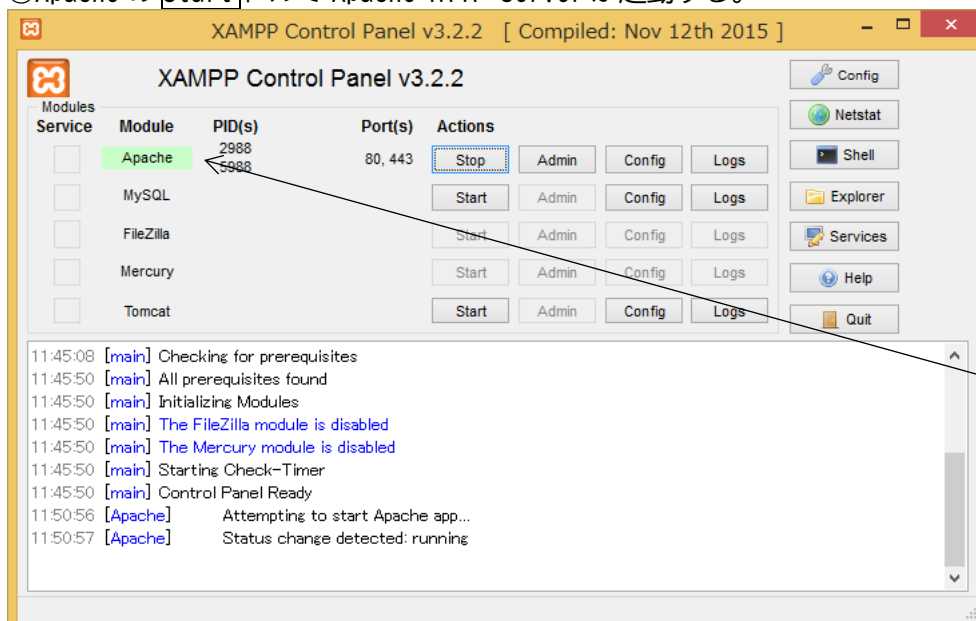
②デスクトップ右下の[X]のアイコンをクリックし、SHOW/HIDE をクリック



③これが XAMPP コントロールパネル（Apache はまだ起動していない）

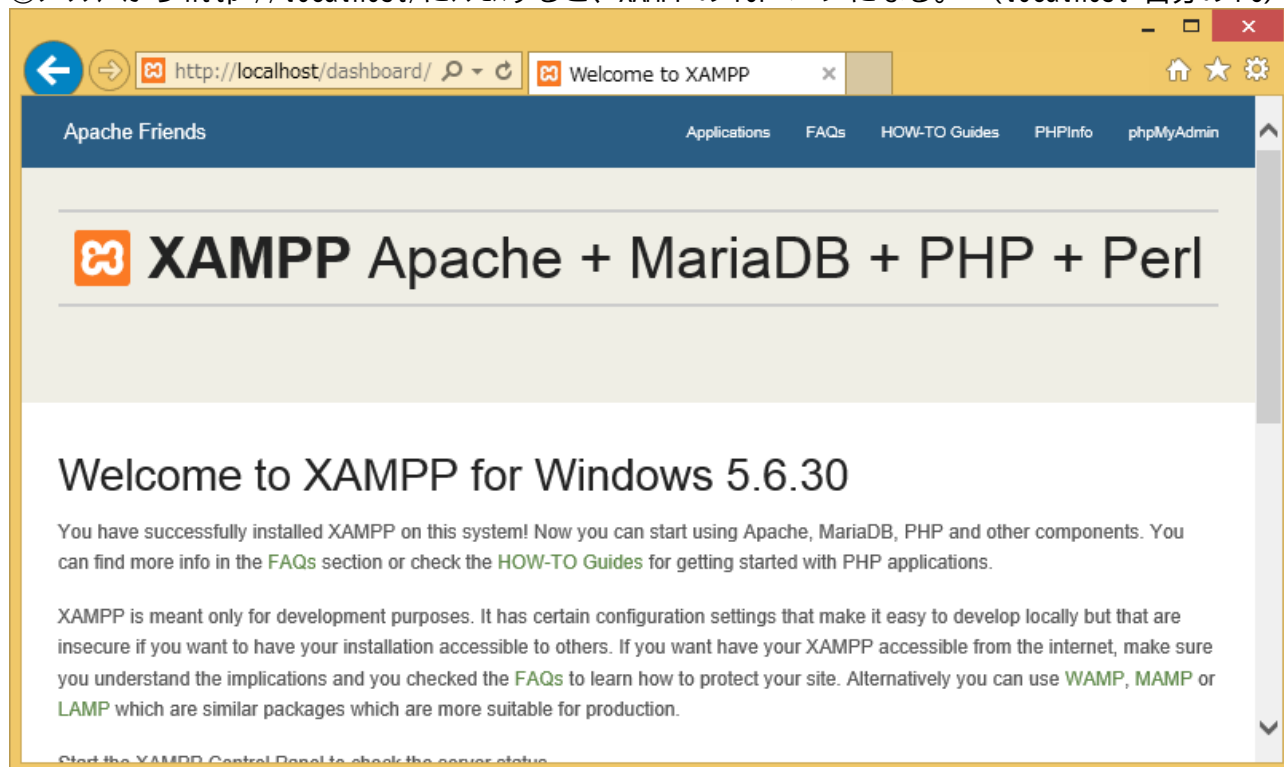


④Apache の Start ボタンで Apache HTTP Server が起動する。



自分の PC が
Web サーバに
なった事を
意味する。

⑤ブラウザから `http://localhost/` にアクセスすると、XAMPP の TOP ページになる。（localhost:自分の PC）



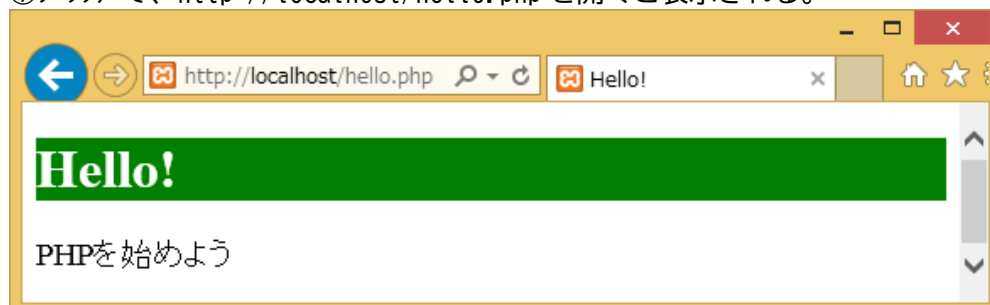
※これは、外部の Web サイトではない。自分の PC の Web サーバが起動し Web サイトを表示している。

⑥以下の html 文をテキストで打ち、`C:\xampp\htdocs` の中に `hello.php` という名前で保存する。

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
    <meta charset="UTF-8">
    <title>Hello!</title>
    <style>
        body { font-size:14pt; font-weight:plain; }
        h1 { color:white; font-size:24pt; background-color:green; }
    </style>
</head>
<body>
    <h1>Hello!</h1>
    <p><?php echo "PHP を始めよう"; ?></p> //←この行が PHP 独自の書き方
</body>
</html>
```

`C:\xampp\htdocs` が自前 Web サーバの公開フォルダ
この中に保存したファイルは公開される。

⑦ブラウザで、`http://localhost/hello.php` を開くと表示される。



※PHP ファイルを更新したら、ブラウザ側もリロード(再読み込み)することを忘れずに。

●PHP で使うタグ

<?php echo "PHP を始めよう"; ?> とあるが、

①<?php

② echo "PHP を始めよう";

③?>

と3行に分けても大丈夫。

つまり、<?php から ?> までの中にプログラム（スクリプトという）を書く。

●echo（エコー）について

echo "文字列"; とか echo \$hensu; にすると、文字列や変数の値が表示される。

●値と変数について

変数は\$(ダラー)で始まる。型の宣言は必要ない。

<?php

```
$price = 12300;
$tax   = 0.08;
$total = $price * ( 1.0 + $tax );
echo "$price 円の税込み価格は、$total 円です。";
```

?>

↑
半角スペース

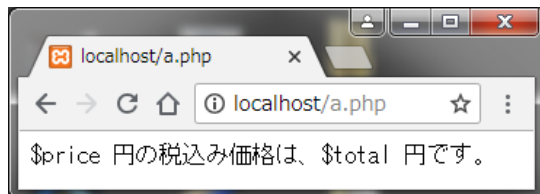
↑
半角スペース



文字列中の変数に代入されている

●「"」と「'」の差

echo '\$price 円の税込み価格は、\$total 円です。'; とすると、こうなる。



「'」は文字列そのままを表示する時使う。

●制御文について

・ if 文、if~else 文、switch 文、while 文、for 文は JavaScript(C 言語)と似ている。

●配列と連想配列

・ 配列の作成 \$array = array(値1, 値2, ...);

\$array = [値1, 値2, ...];

・ 値の設定 \$配列 [番号] = 値;

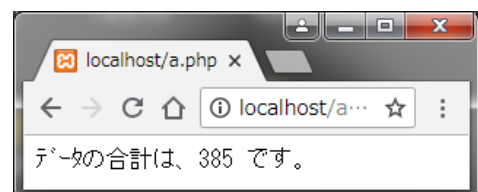
・ 値を取得 取得先 = \$配列 [番号];

<?php

```
$data = [98, 79, 56, 83, 69];
$total = 0;
for($i = 0; $i < count($data); $i++){
    $total += $data[$i];
}
```

echo "データの合計は、{\$total} です。";

?>



count 関数で配列 \$data の要素数を数えてる

↳ { } をつけば文字と繋がっても OK